

## 事業所の環境負荷削減

### 環境会計

#### 環境活動の効率化を目指して

#### 環境会計の考え方

ブラザーグループは、環境経営を継続的に効率化する有効な手段として環境会計を実施しています。毎年の環境活動の費用および投資額を把握し、その結果、どの程度の効果が得られたかを定量的に把握して、次年度の環境活動に反映しています。

#### 2014年度の集計結果

#### 環境保全コスト・費用

ブラザーグループが環境保全活動を行うために実施した投資額は、日本国内の事業所では3億3,700万円であり、昨年から約47%増加しました。海外生産拠点は1億3,700万円で、約19%減少しました。

環境保全活動に要した経費および人件費は、日本国内が7億8,200万円で約6%増加し、海外は2億3,300万円で約101%増加しました。

日本国内の主な環境投資は、省エネ関連設備および製品に使用されている個々の部品・材料に関する環境情報を収集するためのシステム改修によるものです。

海外生産拠点の主な環境投資は、古くなった空調設備の改修および高効率化によるものです。

分類	主な取り組みの内容およびその効果	投資額(百万円)		費用額(百万円)	
		国内	海外	国内	海外
1.事業エリア内コスト	1)公害防止コスト	4 (1)	0 (0)	20 (△9)	84 (50)
	2)地球環境保全コスト	120 (11)	137 (△32)	63 (2)	25 (20)
	3)資源循環コスト	0 (△1)	0 (0)	85 (8)	56 (26)
2.上・下流コスト	部材調達および製品販売後の環境負荷低減に掛かるコスト	0 (△5)	0 (0)	95 (△4)	2 (1)
3.管理活動コスト	事業活動での環境負荷低減に間接的に寄与する取り組みのコスト	155 (57)	0 (0)	358 (35)	55 (13)
4.研究開発コスト	環境負荷低減のための研究開発コスト	58 (56)	0 (0)	145 (13)	0 (0)
5.社会活動コスト	企業活動と直接関係しない環境保全に掛かるコスト	0 (△11)	0 (0)	13 (1)	11 (8)
6.環境損傷対応コスト	土壌浄化など、自然修復に掛かるコスト	0 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)
合計		337 (108)	137 (△32)	782 (45)	233 (117)

( )内は前年度比増減額

## 事業所の環境負荷削減

### 環境会計

#### 2014年度の集計結果

#### 2014年度の環境保全効果および経済効果

環境保全効果については、国内では前年並み、海外の生産拠点ではエネルギーの投入量、水使用量、大気への放出量、廃棄物排出量が増加しました。これらの原因は、ブラザーインダストリーズフィリピン Ltd.(以下、BIPH)の追加とブラザーインダストリーズサイゴンLtd.(以下、BISG)での生産量増加によるものです。

経済効果については、国内は主に省資源またはリサイクル活動に伴う廃棄物処理費の節減、海外は主に廃棄物のリサイクルによる事業収入です。

環境保全効果の内容		環境保全効果を表わす内容指標の分類		国内	海外
事業エリア内コストに対応する効果	事業活動に投入する資源に関する効果	エネルギーの投入	原油換算(kL)	10,483 (△232)	18,838 (1,787)
		水の投入量	m <sup>3</sup>	101,060 (△3,830)	664,084 (51,327)
	事業活動から排出する環境負荷および廃棄物に関する効果	大気への排出量	CO <sub>2</sub> (t-CO <sub>2</sub> /年)	15,659 (△374)	31,085 (3,051)
			NO <sub>x</sub> (Kg/年)	2,046 (15)	3,603 (274)
			SO <sub>x</sub> (Kg/年)	8 (0)	88 (7)
		廃棄物の排出量	廃棄物排出量(t)	2,302 (365)	4,851 (489)
			最終処分量(t)	0 (0)	2 (△3)

( )内は前年度比増減額

環境保全効果にともなう経済効果*の内容		国内(百万円)	海外(百万円)
収益	主たる事業活動で生じた廃棄物のリサイクルによる事業収入	6.9 (0.1)	55.6 (14.1)
費用削減	省エネルギーによるエネルギー費の削減	3.0 (1.6)	25.3 (△1)
	省資源またはリサイクル活動に伴う廃棄物処理費の節減	31.7 (2.4)	11.3 (△20.6)
その他効果	新聞雑誌などマスコミの環境活動取材の結果として掲載記事の効果を広告宣伝費相当に換算した金額	2.3 (△1.4)	17.2 (14.1)
合計		43.9 (2.7)	109.4 (6.5)

\*: 環境保全効果に伴う経済効果とは、環境保全活動を行った結果から生じる効果のうち、金額換算できる経済効果です。確実な根拠に基づく算定ができない、みなし効果・偶発的效果については算定していません。

( )内は前年度比増減額

#### 集計範囲

ブラザー工業株式会社の本社を含む国内8事業所\*1、海外生産11工場\*2: 2014年4月1日～2015年3月31日

\*1: 本社・瑞穂・星崎・港・桃園・刈谷工場、技術開発センター、物流センター(物流センターについては、環境保全効果のみを集計)

\*2: ブラザーインダストリーズ(U.K.)Ltd.、ブラザーインダストリーズ(スロバキア)s.r.o.、台弟工業股份有限公司、珠海兄弟工業有限公司、兄弟機械(西安)有限公司、兄弟工業(深圳)有限公司、兄弟高科技(深圳)有限公司、ブラザーインダストリーズテクノロジー(マレーシア)Sdn. Bhd.、ブラザーインダストリーズ(ベトナム)Ltd.、ブラザーインダストリーズサイゴンLtd.、ブラザーマシナリーベトナムLtd.

▶2010年度～2014年度の環境会計一覧 [PDF/200KB] <http://download.brother.com/pub/jp/eco/pdf/2015/accounting.pdf>